

經濟プロツクには
調査機關が必要
——(中)——
世界に於ける經濟プロツクが、
さて見る所、大體六つに別けられるが、その中大きなアロツクをへば、何んといつてもイギリス、アメリカである。
英國は植民地が多く、日本の如きと云はれる程廣くあるのである。故に此の豊富なる原料を以て、組織的に且つ大規模な工場で、商品の完製を行つたから、一時は世界の市場を風靡したのも當然である。
所が、歐洲大戦を劃期として、工業界の財盤は一轉北アメリカへ移り、英米は天稟の大資源と豊かな大資本で、高度の生産を確立する。製品を盛んに世界の市場へ輸出するに至つたので、忽ち打撃を受つたものはイギリスである。
さて然るは、南米は英米アプロツクの中馴れに入るかと云ふに、も、南米諸國はアルゼンチン、チリ、ブラジルに於ける英國の進出實に氣の毒なほどであつた。然るに、南米は英米アプロツクの立場から公平に觀察するならば、南米諸國は殊に亞、智伯は英米両アプロツクに跨がり、兩國の競爭舞台となるのである。いかと思はれる。
吾々に關係深きアラジルは、非に於て北米を大得意場にせらるの代りに、北米から相當多く商品の質はねばならぬし、移動の働きに對する利潤も支持されねばならないのであるが、英國は對しても亦、固定資本の元利潤も、拂はねばならぬ處に種々の悩みあるだけ。其處に、英國品の取引無からずの弊はないが、アプロツクに對しては、英米共にアプロツク入りを強ひるこになるのである。

調査機關が必要 —(中)—

西雨時報 第二回五次年計畫 赤露 悪化

赤露、極東の警備を充實

民間側より政府に對蘇策進

り、ソ國が全九
て遂行中の第二

國全兵に導き以て譲渡評價を高めんとの
苦肉策を弄した事が明白となつた
よりその大部隊ふ對内的の逼迫

たのでいたく神經を尖らしたこそ
更にもう一つはソ國は對内的
の如くソ國の對

（極東）にあつたゝめ一度ソ満間に事を構へん
（ため我軍部も之を重視）練つてゐる状態であつた
ソ國承認も日ソ關係

民間側第五回公判

故井上藏相の金解禁

〔東京五日〕五・一五事件民間側の第五回公判は本日午前開廷引續きと並んで東京で冬台して、皮られぬ苦痛であつた状を詳述し、更に自分

めには無限に恵ぐまれてゐる水電
力を利用するにあると冒頭し、農
業で缺食兒童は五バ
ふ數字を示してゐた。

のであるが、之に對して更に重
圧を加へたのが昭和五年一月十一
日初旬

其後
われた金解禁であつたを述べて其
ものゝ皆井上蔵相の
議案で
の結果は一石三十圓の米價も一擧
に十三四六十錢に、又一貫目七圓
千萬圓を更に次飛ばす
ので、之を金に換算す

まんと云ふ慘状を呈し、野菜等は問題にならぬので路傍に放棄した者も責むることもせず、政
は均等平然たる有様であつた。

より折りあつた位で、吾々にまつては駄へ、農村疲弊の責任が飽満

支那共産軍の全貌 討伐策の行進

モスコーゴovernmentでも此の實狀等資金として毎年ロシヤ本國興せられるものは二十萬圓つてあるが、これ等莫大の、事實は少數首腦部黨員の收められたまま上級黨員にされ、虚収の極に達してモスコーゴovernmentでも此の實狀等何等か革正の方法を講じなならばねとあつて、その共產黨選ばれ支那留学生六名を最近歸還せしもの、その實を擧げてその國の息ががかつてゐても、上層中央黨部に於ける微弱である、何等爲すこゝで、更に日本の輸出制度に於て依然處敗のままの現状を申すが、然留學生もたゞへて、輸出數量を制限する事及び價格に關して考慮され、國庫税の引下げを爲す旨を申入れたが、澤田代表對し左の如く回答した。本側で輸出數量を制限する事當然の事であり、繩布關稅下げは今次の會商の重要な問題である。かく引上げは昨年の繩布不買を政府側で撤廻する約五十億平方碼)に對し一往きない、從つて全印度に於ける價格に影響を與へること少である。

通
魔
小數
でも降りたら

産卵の有無に注意

通過後も氣は許せぬ

本城逸早く報道した如く、先月中旬亞麻然丁を發した蟻軍は一路北上、麻州を經て、北西線の一部を攻め、リオ。州立生物研究所が各地に連絡をとつて蟻軍の進路を確認する爲めにあらゆる手段を苦心が親はれてゐるが全く豫測し得ない。

若しこの大軍がノロエステ地帯に入るとすれば、差し當り邦人植民者に少なからざる損害を與へずには置かないであらう。少々泥鰌式の感があるが、蟻の發育状態、退治法について説明するのも空徒な事ではあるま。

兎も角も日本の大きな大きい奴と思つて居るさ見てかる。尤も大群飛来する時は天日其爲に暗く騒音を聲を壁に「音」に青葉は蝕はれて仕舞ふと云ふ譯である。此奴は大體三度位の變化をして成虫となり羽が生えて食ふのが無くなるこ他に去る通りである。

産卵

一月迄に八回して土地の乾いた固い所に卵を生みつける。する三二十日位で幼虫を地上に伸び出す。此の青い虫は八日目位で第一回の脱皮をして褐色の黄斑の娘となり、又十二日位で脱皮してそれから廿五日位で又脱皮して羽が出来る。

斯様な具合で一個所に處して居る間に被害を受けるのは、最初僅かに來て青葉を坊主にする時よりも被害が甚大で此の期間に退治しても仕舞はん事には手の巻こし様が無い。



南伯の獨逸人

〔2〕 古關富彌

植民地を巡りて

そこで南三州中獨逸人の分布とてあり、最も安易に着手出来る仕事である筈だ、故に著しく對する事は言ふを俟たないが、其の地植民の歴史もあり、時代々々の發達史もあつて地理から見ても地勢から言つても農業開拓の配合、將來種子の改良等は入植と共に僅かな地面を開拓して來た産業に差支への計画など根本的の點で勝てなしである。農業様式は期せずして畜産業を基本として發達して居るから面白い、例へば日本人が本開拓地の開拓者であるが、眞に動物愛護の情が油然とする所以こそ存するの行方で、之が彼等の傳統的様式には製作を以て終始したのと同じで、よく三歳の童兒で仔牛の行方で、之が彼等の傳統的様式を擴張するのは勿論だが決して他

種子 棉種子の播撒時十月 棉作者へ 農務局の注意

「カナ・ブラジルを
散見して」の筆者に

有馬 鐵之輔

カナ・アラジル紙に對し、種々御意見御發表された筆者、古野菊生氏に感謝いたします。そして御質問らしい點について一應簡単に御答申上ます。

カナ文字文章、又は文句は、建前として、一般の人々に解り易く書く事で、普通なればカイタクビト、ヨリは、カイタクシヤ、サキキンが解り易く一般的であるから古野菊生氏の御説通りにすべきものですが、私が殊更に書いたのは、拓人。

が「テンダ」ではなくて「テンチ」

日本歴史の草で、天智天皇の讀方

んなところにもあります。

読者の注意なほく爲の書き方に外

ギンと發表してあるのも、特に

の意を強く表はした點で、又、サ

イギンと發表してあるのも、特に

あります。

カナ文字文章の技巧と趣味は、そ

んなところにもあります。

日本語の名前や、地名の読み方に

多種多様であることは今更改めて述べる必要もありますまい。早い

話が貴ト御名前でも、フルノ

ギクセイと讀むか、コヤキセイ

セイと讀むか、コノ キクセイと

讀むか、コナ キクセイと讀むか

フルナ キクセイと讀むか、コナ

ギクセイと讀むか、コヤキセイ

セイと讀むか、コノ キクセイと

讀むか、コナ キクセイと讀むか

又読むか、正しく讀めません。

しかし、ただでも正しく書くこ

と讀むか、あの文字を見た丈では

なかく正しく讀めません。

せんか、正しく讀めないのが當り

前です。

天皇に對し奉り「シマシタ」など

といふ言葉を使用した苦ではあり

ませんでしたが若しそうあつた

ましたら、不注意であります。

も出来ないのが、多くの日本人の

名前であり、地名であります。

書いて居ります。教科書には明

す。どうぞ一度御調査を希望

します。

「テンダ」を振りカナしてあります。

した。今後は層層御意に副ふ様

あります。斯くてこそ精

練された、よいカナ文字の新聞が

出でる様にいふもの、此の後も断続

のです。

アラジル紙は、そんなに翻型には

出でる様に、文中にも時に現はれる

音があります。我等のカナ。

日本語中アラジル語混用云々を

りますが、あれは私共日常の話中

にも時折ありふれたアーフル語が

出でる様に、文中にも時に現はれる

音があります。アーフル語混用云々を

りますが、あれは私共日常の話中

にも時折ありふれたアーフル語が

出でる様に、文中にも時に現はれる</